



なはセン通信

Vol. 53



なは市民活動支援センター
(那覇市民文化部まちづくり協働推進課)
〒900-0004 那覇市銘苅 2-3-1
なは市民協働プラザ 2階
(2020年10月発行)



コロナ対応市民活動相談事業 相談事例報告



新型コロナウイルス感染症によって、新たな活動を始めようと考えている非営利団体の方や個人、これまでの活動に影響を受けた団体の方から様々な相談が寄せられています。

●児童館職員より

児童館に通う「不登校因子がある」等の児童・生徒の現在について、コロナ禍で発生した自宅待機で子どもと保護者の不安やストレスを軽減する方法について、児童館としてできる事はないか？

●非営利団体職員より

持続化給付金申請時に必要な減収の証明書類の作成方法について

●非営利団体職員より

コロナ禍で家庭内暴力に対する相談、地域として出来る対応について

●ライブハウス運営者

不登校の小中学生を対象にエンターテインメントを学ぶ機会を作りたい。発表に至るまでのプロセスを経験する事で自尊心を養われると考え、事業として立ちあげるアドバイスがほしい。

●大学職員

学生ボランティアの機会が減少し、学外活動の制限がある中、学生がどのような形でボランティアや市民活動に関われるのかアドバイスがほしい。

などなど、期間中、多様な分野の専門家が対応しますので、ぜひご相談ください。



相談受付中

【期 間】12月25日まで！(土日祝日を除く)

【実施方法】オンラインにて実施(オンライン環境がない場合は対面相談も可能)

【受託事業者】NPO法人 まちなか研究所わくわく

TEL & FAX / 861-1469 E-mail / office@machiwaku.com



相談事業ホームページ
<https://nahasen.info>



「ボランティアまっちゃんぐカフェ」参加者募集！



ジュニアボランティアなど、多くのボランティアプログラムを持つ
繁多川公民館の南館長によるゲストトーク
ボランティアを求める団体と、ボランティアに興味のある方との「ゆんたく会」を開催します！

【日 時】11月17日(火) 18:45~20:45

【参加費】無料

【期 限】~11月10日(火) 12:00 まで

【対 象】

ボランティアを行っている市民活動団体、
ボランティアをしてみたい方

【受託事業者】NPO法人 まちなか研究所わくわく

TEL & FAX / 861-1469 E-mail / office@machiwaku.com

フード&物資ドライブ

(ご家庭で余っている食品や日用品の寄付)

ご提供いただける食品や、洗剤などの日用品がございましたら、センター2階の管理事務室までお願い致します。

(水・日以外) 9:00~21:00

(水・日) 9:00~17:00





「コロナ禍のボランティア受入プログラムづくりワークショップ」 報 告

市民活動を円滑に行うにはボランティアの協力が必要ですが、ボランティアを受け入れる側の体制も重要です。人員の補充だけでは双方にとって『もったいない』結果に繋がりがかねません。また、当センターのデータバンク事業でも、求める団体の登録が伸びない理由として「どのように募集したら良いのかわからない」という事が原因の一つとも考えられます。

全2回にわたり実施したボランティア受入れワークショップでは、お互いが心地よく活動ができる仕組みづくりや魅力的な募集の仕方など事例を交えながら学び、5つのテーマで分かれたグループでは実際の活動を元に、ボランティア受け入れプログラム作りを行いました。

各グループで発表を行いました、それぞれの個性が光る内容で、具体的かつ魅力的なプログラムが完成しました。



**Let's
まちボラ**



『当事者と一緒に
仲間を創るボランティア』



『リッパヤールーキャラバン
In パーラー公民館』



『マンホールを開けてみた！
ゴキブリを一網打尽に!!』



『犬のシャンプー
ボランティア』



『国際手話通訳
・観光ガイド』



ボランティア活動を
やってみたい方は
次の「ボラ基礎講座」へ！

コロナ禍のボランティア基礎講座 受講生募集！



ボランティアって、そもそも何だろう？

自分がやりたいボランティア活動を見つけてみよう

安心して楽しくボランティアをする秘訣を学びませんか？

- 日 時：11月13日（金）18:45～20:45
- 場 所：なは市民活動支援センター 2階 会議室①
- 講 師：まちなか研究所わくわく事務局長 宮道喜一氏
- ゲスト：那覇市若狭公民館 館長 宮城潤氏
- 参加費：無料（定員20名）
- 対 象：市民（人材データバンク登録者優先）
- お申込み：10月20日（火）～11月10日（火）17:00まで
FAXまたは、入力フォームをご利用ください。





「知らないことは人に聞け」
を、モットーに生きてきたがたくし…
自分で調べると、
情報から出られなくなってしまうんです。
ですから、教えてください…

シリーズ第16弾 「何をしているトコですか?」



なは市民活動支援センター
2階支援事務室偏

うちなーぐちふきゅうきょうかい
沖縄語普及協会

—「沖縄語普及協会」とはどういった団体ですか？

沖縄本島北部、中部、南部、宮古、八重山、与那国、奄美に伝わる言語（琉球語）というのがありますが、この言語の絶滅が危惧され、沖縄の芸能や教育、経済界からも沖縄文化に携わる様々な方が集結して琉球語の正しい保存、継承、普及を使命とした「沖縄方言普及協議会」という任意団体を立ち上げました。

2006年に「NPO法人沖縄語（うちなーぐち）普及協議会」に生まれ変わって、小学生を対象にした沖縄語の指導などの普及活動を中心に活動しています。



—「沖縄語普及協会」の目標を教えてください。

言葉というものはその思想、感情、行動、物に必ず付随します。音楽でも琉球古典音楽を理解するためには、大和語（やまとくち）に訳すると、感情の動きや情景を理解しにくい。沖縄語が消える＝沖縄の文化が消えるという事。もっと言うと、中身のない“文化の形骸化”に繋がります。

沖縄語を喋れる者が3割しか居ないと嘆くより、残りの7割は「沖縄語が残せる可能性のある人」と捉えると、既に住民の言語継承が不可能となった地域に比べて、文化の形骸化は免れると思います。単一言語を否定したり推進したりと極端な話しではなく、大和語、英語、沖縄語が当たり前話せる情緒豊かな人材を育成、発掘していきたいですね。

TACMEDA 沖縄

—「TACMEDA 沖縄」とはどういった団体ですか？

イリノイ州に本部を置く、Tactical Medicine ESSENTIALS のアジア支部で「TACMEDA（タックメダ）」と言います、台湾など東アジア諸国にわたる国際トレーニングサイトです。

一つ憶えればあらゆる救命ができる体験型教育により習得率は75～90%と、即効かつ実効的なプログラムで各種救命教育を統合しあらゆる場面に応用できます。

危機に瀕した際に生き残ることができるか否かは「意識×知識×技術」で決まります。このどれか1つでも「0」だと全部が「0」になってしまいます。

しかし、意識×知識×技術それぞれ少しずつでもあれば、危険な状況からの安全確保、救護の手を差し伸べることができてその分、生き残る確率が上がります。危険な状況の時に安全になるまで待って行動するよりも、遥かに多くの人の命を救うことができます。こういった国際標準の救命法の普及に努めています。

—「TACMEDA 沖縄」の目標を教えてください。

誰もが他人の命に責任を持つ社会を実現させることが目的です。技術の進歩により AED や救命用止血帯など、適切な器具を用いれば誰でも命の危機に瀕した人を救えるようになりました。TACMEDA のモットーは Excellent Medicine Lightning Speed「電光石火の速さこそ最高の医療」Speed=Life です。

速く救命するには、誰もができるように AED などの道具を整備すること、制度を整えることが必要ですが、その中でも教育は今すぐにできることなので沖縄から東アジア全般に広めていけるように挑戦しています。





助成金等情報

『国立青少年教育振興機構/ 子どもゆめ基金』

募集期間:【郵送】～11月10日(火)当日消印有効・【電子】～11月24日(火)17時締切

内容:活動規模によって異なる(全国規模・都道府県規模・市区町村規模)

助成対象:子どもの体験活動・読書活動(フォーラム等普及活動・指導者養成)

- ① 公益社団法人、公益財団法人又は一般社団法人、一般財団法人、特定非営利活動法人
- ② 上記以外の法人格を有する団体(但し、次に掲げる団体を除く)
国または地方公共団体、法律により直接に設立された団体、特別の法律により特別の設立行為をもって設立された団体
- ③ 法人格は有しないが、活動を実施するための体制が整っていると認められる団体

【お問合せ】独立行政法人 国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部助成課 TEL:0120-579081
URL <https://yumekikin.niye.go.jp/>

『セブンイレブン記念財団/ 環境市民活動助成』

募集期間:11月16日(月)当日消印有効

内容:【①活動助成】1団体あたり上限100万・【②NPO基盤強化助成】1団体あたり上限400万

- 助成対象:**
- ① 自然環境保護など、市民が主体となって行う環境活動の活動資金を1年間支援します。(任意団体は増額)
 - ② 安定的に活動を継続できる自主事業の構築。確立を目指すNPO法人に対し、事業資金・専従職員の人件費・事務所賃を原則3年間支援します。(原則3年間総額1200万円の継続助成)
・「環境保全を図る活動」が活動分野として認証され、かつ、法人として3年以上の活動実績があるNPO法人
任意団体の活動実績期間は加算されません(2018年3月31日以前にNPO法人格を取得し登記している団体)

【お問合せ】一般社団法人 セブンイレブン記念財団 TEL:03-6238-3872
URL <https://www.7midori.org>

※最新の情報や詳細は、各お問合せ先の応募要項を必ずご確認ください。

感染症拡大予防ガイドラインにより、収容人数は表示人数の概ね半分程度とされています



☆基本料金	
最初の1時間まで	300円
最初の1時間を超え30分ごとに	100円
☆市民活動目的の場合(減額適用)	
最初の2時間まで	100円
最初の2時間を超え1時間ごとに	100円

2020年3月より、なは市民協働プラザの駐車場は有料となりました。

お問合わせ なは市民活動支援センター
〒900-0004



那覇市銘苅 2-3-1 なは市民協働プラザ 2階
TEL: 098-861-5024 / FAX: 098-861-5029
メール: C-KATU005@city.naha.lg.jp

会議室 料金一覧表

会議室①	84人	¥1,300/1h	¥400/1h
会議室②	36人	¥650/1h	¥200/1h
会議室③	45人	¥650/1h	¥200/1h
会議室④	18人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑤	15人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑥	15人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑦	12人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑧	24人	¥250/1h	¥100/1h
研修室①(和室)	16人	¥200/1h	¥100/1h
研修室②	17人	¥200/1h	¥100/1h

印刷機 使用料

白黒・A3サイズ以下	¥1/枚
カラー・A3サイズ以下	¥4/枚

※内容確認のため、原則として印刷物の一部提出をお願いしております。
※印刷用の用紙もお持ちください。
※USB等のメディアからは直接印刷はできません。

